

平成30年12月15日

（あて先）熊本市長

団体名特定非営利活動法人 健康生活応援くまもとプロジェクト
代表者 職名 理事長 氏名 大谷賢二



熊本市市民公益活動支援助成金実績報告書

平成30年4月1日付け指令（地活）第1-2号により、熊本市市民公益活動支援助成金の交

付決定※を受けました事業の実績について、熊本市市民公益活動支援基金実施要綱第20条の規定により、関係書類を添えて下記のとおり報告します。

記

1 助成事業名

健康寿命の延伸を支える健康生活応援講座「ワクワクくまもと健康塾」

2 助成事業の実施期間

平成30年4月10日 ～ 平成30年12月10日

3 助成事業の内容

健康づくりは、身体機能の向上訓練のみならず、body・mind・spiritといった心身の健康バランスを総合的に保持・増進させることが重要であるとの認識のもと、医療・介護・認知症・ヨガ・食を組み合わせた講座を6回シリーズで開催した。

4 事業の成果

平均年齢69歳の高齢者18名が参加する中、各自、各講座に真剣に取り組まれ、健康づくりの知識習得に繋がった。

5 助成事業の実施状況

- (1) 事業収支決算書（様式第16号）
- (2) 事業の経過又は成果を証する書類等
- (3) その他参考となる資料

別紙（１）

事業報告書

実施年度	平成 30 年度
事業名	健康寿命の延伸を支える健康生活応援講座「ワクワクくまもと健康塾」
事業期間	平成 30 年 4 月 10 日 ～平成 30 年 12 月 10 日
事業の目的	健康づくりは、身体機能の向上訓練のみならず、body・mind・spirit といった心身の健康バランスを総合的に保持・増進させることが重要であるとの認識のもと、医療・介護・認知症・ヨガ・食を組み合わせた講座を開催し、健康寿命延伸の一助とするもの。
具体的な 事業内容	開講式及びオリエンテーション 第 1 回講座・・・疾病予防と健康づくりについての講演 第 2 回講座・・・介護予防に向けての実践指導 第 3 回講座・・・認知症予防に向けての実査戦指導 第 4 回講座・・・心身のバランス保持に向けてのヨガ実践指導 第 5 回講座・・・健康食づくり実践指導 第 6 回講座・・・特殊詐欺（オレオレ詐欺）防止に向けての対策講座 ・・・イスを用いたヨガ実践指導
実施場所	あいぽーと会議室及びイベントコーナー、大江公民館調理室
事業の効果 ・公益性	各講座とも高度な専門性を踏まえ、解りやすく、丁寧に実践指導を行った結果、健康寿命の延伸に向けての知識習得に繋がった。
次年度以降の 事業展望	平成 31 年度以降、幅広く市域全域に事業を展開し、健康づくりの増進に寄与していきたい。

事業への想い (当事業によってどのような熊本市にしていきたいか)	熊本県の平均寿命は男女とも全国の上位に位置するが、健康寿命は全国の下位に止まっている。このことは、不健康な期間（平均寿命－健康寿命）が他都市に比べて長く、長期間にわたり医療・介護への依存度が高くなっている。 然るに、本事業を幅広く展開することで、健康づくりに向けての意識の高揚と「自分の体は自分で守る」というセルフケア精神の涵養に繋がり、「元気な熊本市」の創出に寄与するものと考える。 併せて、熊本市の医療費、介護費用負担の軽減にも大きく貢献できると考える。
--	--

事業収支決算書

項 目		金 額 (円)	内 訳
収 入	自己資金		会費
		54,000	当該事業による収益 (3,000 円×18 人)
		81,385	その他の自己資金
			寄附金・協賛金
	市民公益活動支援助成金	100,000	当該事業に対する助成希望額
	その他の補助金・助成金		
	計	235,385	
支 出	助成対象経費	人件費	36,000 講座補助員 1,000 円×3H×6 回×2 人=36,000 円
		報償費	190,000 講師謝金 50,000 円×1 人、30,000 円×1 人 20,000 円×4 人=80,000 円、15,000 円×2 人=30,000 円
		役務費	2,580 通知用切手代 10 円×23 枚=230 円 連絡用封筒切手代 10 通=2,350 円
		使用料・賃借料	2,050 田迎コミセン使用料 400 円 大江公民館調理室使用料 1,650 円
		事務費	4,755 封筒、クラフト用紙、コピー用紙、ポスター用印刷、クリアホルダー等
		旅費	
		委託費	
		その他	
		小計	235,385
	助成対象外経費		
		小計	
	計	235,385	